

広報誌

うえるふえあ

65号

2014.10.25

発行 社会医療法人慈生会広報委員会 鹿児島県枕崎市白沢北町191番地 TEL (0993) 72-0055

平成26年度第1回かかりつけ医認知症対応力向上研修開催報告

平成26年10月4日(土曜日)、南九州市市民交流センター川辺ひまわり館において、当院認知症疾患医療センター主催で、かかりつけ医認知症対応力向上研修を開催しました。かかりつけ医の先生をはじめ、総勢35名の医療保健福祉関係者が参加されました。



今年度から、厚生労働省が示すカリキュラムが変更となり、かかりつけ医の役割、診断と治療、連携と制度の3つの講義を、より詳しい内容でサザン・リージョン病院院長の牧角寛郎先生、玉水会病院の長友医継先生、宮菌病院院長の宮菌尊仁先生に講演して頂きました。4時間にも渡る長丁場での研修となりましたが、かかりつけ医の先生方、南薩圏域の医療保健福祉関係者の皆様は熱心に講義を受けられ、参加された先生方からは「出席して非常に勉強になった」「急性期病院でも、夜間、認知症の患者様をケアしていらっしゃる話が印象的だった」との意見を頂きました。また、医療保健福祉関係者の方々からは、「地域である講演会では、地域の方々と連携が図れる研修であったらよい」、「医療と介護の連携について多く参加していきたい」、「正直、医療の話は難しかったですが、介護、認知症の方に対する想いは一緒だと思い、今後も仕事に前向きに頑張ろうと思いました」などのご意見を頂き、当センターとしましても今後の研修会企画にあたって大変参考となりました。

本来は、8月9日に予定していましたが、台風11号接近の影響により延期を余儀なくされ、お申し込みを頂いておりました多くの方々にご迷惑をおかけ致しました。延期した今回も台風18号が接近し、「また今回も延期になるのでは…。スタッフの中に、台風を呼び寄せる人がいるのでは…。」という話題も出ました。幸い、今回は台風の影響を受ける事無く、無事終了することが出来ました。

今後の認知症疾患医療センターとしては、11月1日に枕崎市医師会のメディカルミーティングと合同で「認知症フォーラム in 南薩」を開催予定です。また、12月10日には、「認知症セミナー in 南薩」を開催します。かかりつけ医認知症対応力向上研修を修了された先生方を対象とし、より専門的な研修としての「かかりつけ医認知症対応力フォローアップ研修」を兼ねています。医療保健福祉関係者も参加可能ですので、多くの方のご参加をお待ちしております。

経営理念

- 患者様の健康回復に努め、もって患者様の生活安定と幸福に貢献すること
- 地域住民の健康維持管理に努め、もって地域社会の発展に貢献すること
- 職員の生活向上と幸福をはかること

基本方針

- ◇ 患者様に満足してもらえる医療を提供します
- ◇ ストレス社会と高齢社会に対応した専門医療を提供します
- ◇ 地域医療に対応したプライマリーケア機能を高めていきます
- ◇ 高い技能と優れた人格を併せもった人材を育成します

イベント報告

唐船峡そうめん流し

9月26日、唐船峡のそうめん流しに行ってきました。

1年に1度の一大行事で、みなさんととても楽しみにされており、数日前まで雨続きで天気を心配していましたが、なんと！当日は太陽が顔を出してくれて、みなさんの祈りのパワーを強く感じました。

寒くもなく、冷たいそうめんもおいしく塩焼きやアライも食べみんな満足気でした。その後は、鯉を見たり景色を眺めたり、売店でお菓子を買ったり、神社で恋みくじを引いたり楽しく過ごされていました。楽しんだ分少し疲れは残った様でしたが、みなさん満足されていました。



第24回すずらん会報告

平成26年9月27日（土）第24回すずらん会を開催しました。今回は「障害者の就労支援について」をテーマに、なんさつ障害者就業・生活支援センター川内崇司様にご講演していただきました。

就労するにあたり、障害をオープンにして就労するメリット・デメリット、クローズにして就労するメリット・デメリット等これまでの支援を通して説明してくださり、参加された患者様やご家族様から「今後就労を検討するうえで、とても良い参考になりました」等の感想をいただきました。ご講演後、参加してくださった方からの質問に、回答していただく時間を設け、患者様・ご家族様だけでなく職員にとっても勉強になり、良い機会になったのではないかと思います。

家族会は、ご家族同士の学びあい、支え合いを目的とした集まりです。今後ともご家族の皆様が気軽に参加できる会を運営していけたらと考えております。まだ参加されたことのないご家族の方も是非一度参加されてみてください。職員一同お待ちしております。

（すずらん会実行委員会）

医療福祉相談窓口

相談の窓口として、精神保健福祉士（医療福祉相談）が対応しています。経済面、年金、保険、加療中のご心配、また、要望や苦情などお気軽にご相談ください。

相談内容についての秘密は厳守いたします。無料です。

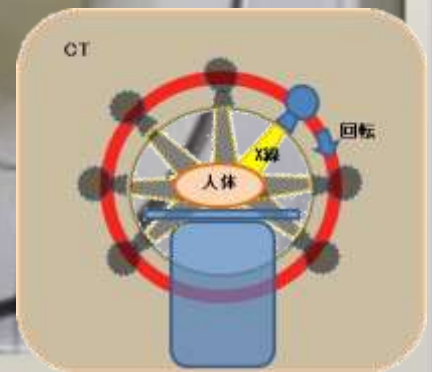
受付時間 月～金 9:00～17:00 土 9:00～12:00（日曜・祝日は除きます）

相談を希望される方は、直接、当院地域医療福祉連携課窓口にお越しいただくか、病院職員にお申し出ください。電話での相談も受け付けております。

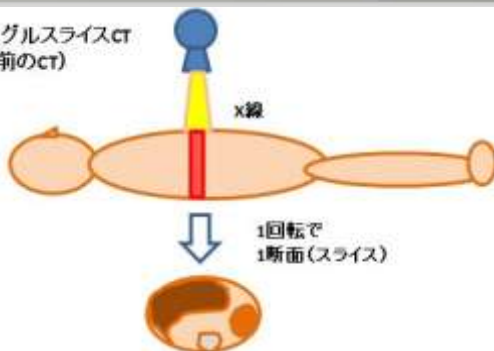
新しいCTが設置されました

2014年8月に
16列マルチスライスCT
を導入しました。

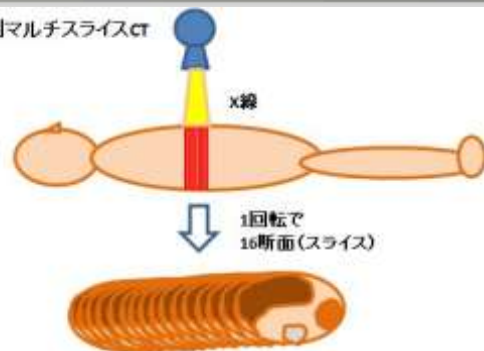
CTは
Computed Tomography
(コンピュータ断層撮影)の略で、体の周りを X 線照射しながら回転して断層像を得る撮影です。当院の今までのCTは1回転で1つの断面像しか得られなかったのですが、今回導入したCTは1回転で最高16(16列)の断面像が得られます。



シングルスライスCT
(以前のCT)



16列マルチスライスCT



検査時間も短く、放射線被ばくも少なくなり、より細かい撮影ができるので、これまでの輪切り(横断面)の画像だけではなく、縦の断面(冠状断面)や斜めの断面像が得られるため、認知症診断で重要な海馬(記憶に関わる脳の器官)の委縮を、冠状断で見ることができるようになりました。

また、2014年9月には、**かごしま救急医療遠隔画像診断センター**のシステムを導入することにより、読影専門医による画像診断を行える環境を整えました。

(遠隔画像診断とは、CTやX線などの画像を、離れた場所にいる読影専門医へ通信回線を利用して送信し、読影専門医による診断レポートや助言により診療できるシステムです。)

今後とも、より良い診療ができるよう心掛けてまいります。(放射線課)

認知症疾患医療センター

(ウエルフェア九州病院内)

受付時間：平日 9:00 ~ 17:00

TEL：0993(72)4747

- ① 専門医療相談
- ② 鑑別診断とそれに基づく初期対応
- ③ 合併症・周辺症状への急性期対応
- ④ かかりつけ医等への研修会の開催
- ⑤ 認知症疾患医療連携協議会の開催
- ⑥ 情報発信

作 品 紹 介

安田様の投稿作品です
童話が二つあります。

ルンちゃん



森の奥に一軒の小さな家がありました。
そこには小さな女の子、ルンちゃんがありました。
お母さんがルンちゃんを呼びました。
「ルン、お肉屋さんに行ってお肉を買ってきて」
「は〜い」

その話を犬が聞き、心の中で言いました。
「もしかしたら、お肉にありつけるかもしれないぞ!!」

お肉屋さんはいちご畑の向こうにありました。
いちご畑に通じる小道をトコ、トコ、かわいいルンちゃんが歩きます。
その後を犬がついてきます。

お肉屋さんでお肉を買ったルンちゃん
トコ、トコ、トコ…

いちご畑の所に来ると犬がルンちゃんに言いました。
「ルンちゃん、ごらんください。輝くばかりのいちごですよ。いちごのケーキ作りのためにお母さんに摘んでいかれたらどうですか？」

すると森の奥から妖精が様子を見ていました。
ルンちゃんが見ると輝くばかりのいちご達でした。
ルンちゃんはいちごを積むことにしました。

ルンちゃんがいちご摘みに夢中になっているそのすきに、犬がカゴの肉をくわえて逃げて行きました。

そのことに気づいた妖精が犬の後を追いかけます。
犬の前へ後ろへ飛び回ります。

犬が「あっちへいけよ」と「ワン」と吠えると肉が空中へ…
妖精がキャッチして肉はルンちゃんの所へと返されました。

エプロンいっぱいの一ちごを持ってルンちゃんと妖精さんと犬はお母さんの所に行きました。

犬は「ごめんなさい」とあやまりました。

ルンちゃんは妖精さんに「ありがとう」とお礼を言いました。

そしてお父さんが帰ってきてから皆でお肉のステーキといちごのケーキを食べました。

ルンちゃんのお母さん



森の奥深くに 1 件のお家がありました。
 かわいいみくちゃんが暖炉の前でつぶやきました。

「森は真白、大雪、皆～んな冬眠中。だ～
 れも遊んでくれない。何か楽しいことない
 かな。何かおもしろいことないかなあ」
 ちょうどその時です。誰かが「トン、トン」
 とノックしました。



「は～い、今、開けます」

みくちゃんがドアを開けると、赤い目をした男の子が立っていました。

「眼、真っ赤。どうしたの？待っていてね。今、目ぐすりを持ってくるね」
 みくちゃんが目ぐすりを持ってくると、男の子が笑いながら言いました。

「君、いつも優しいんだね」

「いつも？いつもって、私あなたに会うのは初めてだわ。いつあなたに優
 しくしたの？」

男の子はリボンをつけたにんじんを足元に置いて、赤い手袋を渡しました。

「なぜあなたがこの手袋を持っているの？この赤い手袋は、私が白ウサギ
 さんのお耳のボウシになって、つけてあげたのよ」

次に男の子はにんじんに付けてあった赤いリボンをみくちゃんに渡しまし
 した。

「このリボンを、あなたが持っているの？このリボンは、私が白ウサギさ
 んのボウシにつけてあげたのよ」

男の子は顔までも真っ赤にして

「ボクはその白ウサギです。真白い雪が降って、赤いリボンも手袋も目立
 ちすぎて、猟師の鉄砲にの的になるといけないので、お返しにきました」
 いつも遊んでいた白ウサギさんが男の子と知ると、みくちゃんはつぶやき
 ました。

「あの白ウサギさん、女の子じゃなかったんだ!!」

男の子はにっこりして言いました。

「又、遊びに来ていいですか？」

みくちゃんもにっこり笑って言いました。

「うん!! 今度来るまでに男の子らしい名前を考えておくね」

男の子は雪の中へ消えて行きました。



行事食 (レストラン課)

月 1 回実施される行事食の紹介です

7月の薬膳 (土用の丑の日うな重)

7月の行事食は夏場の弱りがちな胃腸の健胃整腸作用を目的とした薬膳料理です。



大根で朝顔を作ってます。

8月の薬膳 (七夕ソーメン)

8月の行事食は疲労回復に効果的な薬膳料理です。

花すいれんを大根で、金魚を人参で作ってます。



9月の薬膳 (十五夜おはぎ)

9月の行事食は疲労回復や視力回復に良いとされる食材を用いた薬膳料理です。



7月 季節の飾りとして大根で朝顔を作っています。

8月 夏の涼しさをイメージして季節の花すいれんを大根で、金魚を人参で作っています。

9月 9月は十五夜と敬老の日を祝って敬老の祝膳と2回の行事食を行っています

・敬老の祝膳献立

- ー・蓋物
(赤魚と椎茸の蒸し物/オクラ)
- ー・小鉢
(高野豆腐の含め煮/絹さや)
- ー・吸物
(ソーメン汁)
- ー・ご飯物
(チラシ寿司)
- ー・水菓子
(紅白羊羹)



第24回コスモス会のご案内

第24回コスモス会（家族会）の開催が、下記のとおり決定しましたのでお知らせいたします。

今回は、「NPO法人福祉相談センターかけはし」の前山聡宏氏を講師にお招きしています。前山氏は、社会福祉士とケアマネージャーの資格を持ち、鹿児島県内の福祉の分野で大活躍されておられる方です。また、大学の非常勤講師もされておられます。

現在、国としても「認知症を抱えている方」をできるだけ地域で支えていく方針で動いております。今回の講演内容は、今後の私たちの生活を考える上でとても参考になるのではないかと思います。ご多忙とは存じますが、皆様、ご参加の程よろしくお願ひします。

記

日時 : 平成26年11月29日(土) 13:30~15:30
(13:00より受付)

場所 : ウエルフェア九州病院 2階 会議室

内容 : 【講演会】内容「地域における見守り活動について」

講師 : NPO法人かけはし代表 前山聡宏氏

【座談会】日頃の介護で困っている事や感じている事などを皆で話し合う場です。

対象となる方 : 当法人の病院・関連施設をご利用の認知症患者様のご家族



参加をご希望される方は、準備の関係上 **11月1日まで**に、直接スタッフにお申し込み下さい（申し込み用紙は外来待合室および受付に用意しております）。お電話でのご連絡でも結構です。また、当日交通の便がない方は送迎も致しますので、事前にご相談下さい。ご不明な点がございましたら、スタッフへお気軽に声をおかけ下さいませ。

実習生感想

8月4日から9月12日までの約5週間、精神保健福祉士の実習をさせていただきました。感染症発生時の病院の対応、精神保健福祉士の対応など学ぶことが出来たことは、貴重な体験でした。現場で働く精神保健福祉士の方々の業務から、電話相談、相談面接、入院時の手続き、制度申請の手続き、退院時の関わり、社会資源との連携、様々な業務を学ぶことが出来ました。患者様の現在の生活、今までの生活を知り、これからの患者様の生活を、ご本人と共に考えていくことの大切さを学びました。その上で、周囲との連携や調整もとても大切なものであると実感しました。病棟、デイケアあおぞら・いその苑、地域活動支援センターうえるふえあでの実習の中で、他の職種の方々の仕事への思い、患者様への思いなどを知ることもしました。多職種の業務への理解へ繋がりました。本当にありがとうございました。

患者様との関わりの中で、「笑顔でいることは大切だよ。人生は色々なことがあるけどね、感謝をして、何事も前向きに考えて頑張るんだよ」との言葉が心に残っています。この言葉を思い出しながら、これから色々なことへ挑戦し、成長していきたいと思ひます。たくさんの患者様の今までの人生、経験についての話を聞かせていただくことができ、本当にありがたかったです。

実習を通して、精神保健福祉士として働きたいという気持ちが強くなりました。5週間本当にありがとうございました。

鹿児島国際大学福祉社会学部社会福祉学科 4年 前野 芽

回想の窓
♡心理室♡

回想法は、うみがめ病棟、いその苑で高齢の方を対象に週に1回集まって、楽しく話をしたり昔のことを語り合ったりするグループ活動です。今回は「秋の味覚」をテーマに話題にあがったことをご紹介します。

Aさん：秋には家の庭に柿の木があって、たくさんなつたよ！お父さんが好きでね…

Bさん：うちには柿の木はなかったけど、もらって、みんなで食べてたよ。家族が多いから、小さく切ってね(笑)

Cさん：うちの方はあんまり果物が育たなかったから、柿は貴重品だった。うんべももったいないから、種をずっとしゃぶってたよ。

Dさん：うんべは種の周りが甘いよね。よく学校帰りに友だちと山に採りに行ってたよ。



昔の思い出を語る表情はみなさん、生き生きされており、家族や友だちとの繋がりや当時の生活などを詳細に語って下さっています。



ドクター紹介

内科 小林由右子 医師

略歴 久留米大学医学部卒業後、鹿児島大学病院にて初期研修。その後、鹿児島大学心臓血管・高血圧内科に入局

専門分野は？ まだ勉強中ですが、高血圧、動脈硬化、糖尿病について勉強しています。

診療にあたり日常心掛けておられる点は？患者様やご家族の立場に立って考えるように心掛けています。

患者様へのメッセージを一言… 何か困った事や体の事で気になっている点がございましたら、遠慮なく声をかけて下さい。

皆様の状態が少しでも良くなるように、お手伝いをさせていただきます。

ウエルフェア九州病院
診療実績
(2014.7月~9月)

3ヶ月平均

1日外来患者数

・・・109.7人

1日入院患者数

・・・165.8人

区 分		7月	8月	9月
外 来	患 者 延 数	2854	2652	2815
	新 規 患 者 数	29	15	31
	平 均 患 者 数	105.7	106.1	117.3
入 院	入 院 数	15	18	19
	退 院 数	29	12	22
	患 者 延 数	5142	5117	4991
	平 均 患 者 数	165.9	165.1	166.4
	平 均 在 院 日 数	233.7	341.1	243.5

インフルエンザ

夏から秋へと季節も変わり、風邪と共にインフルエンザが流行る時期です。特にインフルエンザは法律にでも定められている感染症になり、普通の風邪とよく似ていますが、1つ1つの症状を比べていくと違いがはっきりしています。今回、インフルエンザと風邪の違いをご紹介します。

	インフルエンザ	風 邪
初期症状	悪寒、頭痛	喉の痛み、くしゃみ、鼻水
主な症状	発症は急激で高度な発熱（38～40度） 頭痛、悪寒 筋肉痛、関節痛、 倦怠感、下痢、腹痛 鼻汁、咳、喉頭痛などの呼吸器症状	発熱 鼻水、鼻づまり、悪寒、 倦怠感
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染は短期間で急激に広がる。 ・ 肺炎などを併発して重症化することがあり、高齢者では死亡率が高くなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染は、徐々に広がる。 ・ 重症化することは少ない。

●インフルエンザ予防

「インフルエンザワクチン接種」が有効な予防の手段です。免疫力が弱っていると、感染しやすくなりますし、感染したときに症状が重くなってしまのおそれもあります。

●日常生活における予防として

- ・ 人ごみを避け、外出時にはマスクを着用しましょう。
- ・ 帰宅時には「手洗い」「うがい」をしましょう。
- ・ 栄養と休養を十分にとりましょう。
- ・ 室内では加湿と換気をよくしましょう。



感染を広げないためにも、感染の可能性のある方は、周囲へ配慮しましょう。

●咳エチケットとして

- ・ 咳やくしゃみをしているときは、マスクを着用しましょう。
- ・ 咳やくしゃみをするとき、マスクを着用していない場合は、ティッシュなどで口と鼻を押さえて他の人から顔をそむけて 1m 以上離れましょう。
- ・ 鼻水、痰などを含んだティッシュを、すぐ蓋つきのごみ箱にすてられる環境を整えましょう。

患者様の権利

- ◆あなたは、その生命・身体・人格を尊重されます。
- ◆あなたは、医療機関を選択し、セカンドオピニオンを取得すること、または転医することができます。
- ◆あなたは、医療を受けるにあたり、自分の状況を理解するために必要な情報を得ることができます。
- ◆あなたは、自らの自由な意思に基づいて診察・検査・治療等の医療行為を受け、選択し、または拒否することができます。
- ◆あなたの個人情報保護されます。

患者様の責務

- ◆私は、インフォームドコンセントに基づき自らの意思で医療行為を受け、病気の治療に専念します。
- ◆私は、医師や看護師等の療養上の指示に従い、共同して自らの治療に参加します。
- ◆私は、療養中は病院の規則に従い、病院や他の患者様に迷惑をかけません。
- ◆私は、医療費などの支払い請求を遅滞なく支払います。



ご意見箱

当院では意見箱を設置し、患者様、ご家族様からのご意見・ご要望に応えるべく取り組んでいます。寄せられたご意見・ご要望と、それらに対する回答を一部紹介します。

【ご意見】 出来たら売店にキャッシュをおろせる ATM がほしいです。

【回答】 現金自動支払機(ATM)につきましては、金融機関が設置するものでもあり、利用見込み件数が少ないとのことで、現段階では難しいところです。今後の検討事項とさせていただきます。

お知らせ

- 精神科当番 11/9(日)・12/29(月)・1/25(日)
- 内科当番 11/2(日)・12/30(火)

※平成26年9月1日より、新患・初診は「予約制」での診療体制になりました。つきましては、受診される際は事前にお問い合わせください。

連絡先：TEL 0993-72-0055（地域医療福祉連携課）

診療科		月		火		水		木		金		土	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
精神科	再診	鮫島(拓) 深川 濱田	完全 予約制	鮫島(秀) 鮫島(三) 濱田	完全 予約制	鮫島(三) 稲留	完全 予約制	宮内 迫口	完全 予約制	鮫島(拓) 宮内 深川	完全 予約制	鮫島(秀) 迫口 稲留	
	初診	予約制		予約制		予約制		予約制		予約制			
内科		児島				児島				児島			

鮫島(秀): 鮫島秀弥、鮫島(拓): 鮫島拓人、鮫島(三): 鮫島三恵子

【編集後記】

10月に入り、先日は、2014年の台風上陸4つ目となる台風19号が今回、枕崎市に上陸となり、とても心配されました・・・さて、朝晩も涼しくなりすっかり、秋めいてきました。つつい食欲の秋というフレーズに負けてしまいがちですが(^_^;)健康管理に十分気を付けましょう！



発行人 鮫島秀弥 社会医療法人慈生会
〒898-0089
鹿児島県枕崎市白沢北町191番地
TEL (0993) 72-0055 FAX 72-1199
URL <http://www.wkh.or.jp/>
E-mail jiseikai@wkh.or.jp
ウエルフェアは
健康・幸福・福祉・繁栄を意味します。